

問い直されるCtoCマーケットの責任とEthical Design

2024年7月19日

長門裕介 (NAGATO Yusuke)



大阪大学 社会技術共創研究センター
Research Center on Ethical, Legal and Social Issues

CtoCマーケットのあり方が問い直されている

- **取引DPF新法(2021)はCtoCは直接の対象とはしていない**
 - 「...CtoC取引の「場」となるデジタルプラットフォームの提供者の役割について検討を行い、消費者の利益の保護の観点から、必要があると認めるときは、法改正を含め所要の措置を講ずること」(付帯決議)
- **G20消費者政策国際会合(2019)議長総括**
 - デジタル時代ではスピードが速いことも含め、その特有性によって誰でも脆弱になる可能性があることを共通認識として持たなければならない。
 - 情報提供のされ方や表示のされ方が誘導されたものでないかということも含め、今までになかった新しい課題があることも共通認識と考える。

広範かつ複雑な課題をどう特定するか

- 誰と誰が/なにを/いつ/どのように取引するかという複雑な変数に応じて様々な課題が現れる

災害やパンデミックでは？

転売屋じゃないの？

差別やヘイトをあおる商品は？

プライバシーリスクは？

ダイナミックプライシングは？

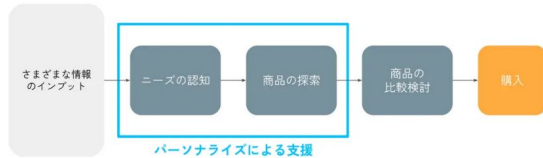
子供や高齢者をどう守る？

既に着手している三つの課題

課題1

リコメンデーション

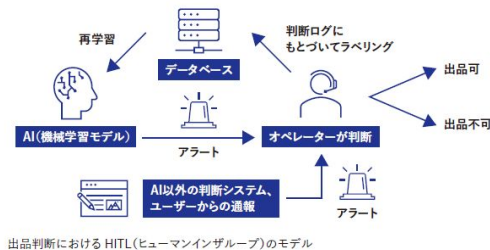
- フィルターバブルとの関係は
どうなっているか？
- 個人の属性を間接的に推定
することになるのか？
- 不適切な操作(マニピュレー
ション)になることを避けるに
は？



課題2

モデレーション

- 出品ガイドラインの明確化と
ユーザーへの情報提供
- SNSの投稿モデレーション
からの反省点抽出
- 出品物検知における人間の
関与の重要性の見直し



課題3

「転売」問題

- どのような類型がある？
- 炎上するアイテムの特徴は
何か？
- 転売規制派／容認派の論点
は何か？
- メディアの報じ方はどうなっ
ているか？

LifeStyle

更新日：2022.05.23 公開日：2022.05.23

履かずに売買、まるで株式 膨れあがるスニーカー転売ビジネスの実態、アメリカで見た

ホーム / 地域：関西 / ニュース

関西発のニュース > 関西発の連載 > 2025大版・関西万博 > 地域コーナートップ >

紙国祭、ちまきの転売相次ぐ...地元困惑「信仰の対象なのに...」

2023/07/15 15:10

この記事をスクラップする

ELSI対応の一部としての Ethical Design

- mercariの「マーケットプレイスの基本原則」を参考にユーザーを脆弱にしない仕組みを模索する
 - 「安全であること(Safe)」「信頼できること(Trustworthy)」「人道的であること(Humane)」
- ガイドライン策定や研修、アカウントビリティの確保といった従来型の対策はもちろん重要
- それに加えて、機能やインターフェイスの改善によるエシカルな UX (ユーザーエクスペリエンス)の実装まで視野に入れた総合的な Ethical Designを構想する